

総合計画（R2施策）外部評価委員会（要点筆記）

令和3年8月11日（水）政策企画部 企画振興課

施策1 観光戦略の推進	
委員長	<p>菊池市には観光協会があるのに、DMOをつくる必要があるのか。また、全体を見て取組みの達成度に1つ「×」がある。担当者が事業のやり方や効果が分からず着手できないままになっているのではないか。事業構想自体に無理があるのかもしれない。実施できなかった理由を教えてください。</p> <p>事業実施に無理があるのであれば、実施しない手続きを踏んだ方が健全なやり方である。総合計画に書いたから、杓子定規に必ず実施しなければならないということではない。</p>
執行部	<p>本市は、自然、食、芸術、風俗など、地域の観光資源を活かし、地域と協働した観光地づくりを行う方針である。現在は、コロナ禍で観光客が減少しており、新たな観光政策等が求められるため、DMOの必要性を感じている。</p> <p>「グルメ菊池」については、達成度が「×」な理由は、要綱作成やグルメ店の選定等が進まなかった。昨年は、コロナ禍で既存飲食店が厳しい状況にあり、その対策を優先して取り組んだ。</p>
委員	<p>学校と連携したホテルの里づくり事業は、今どうなっているのか。</p>
執行部	<p>ホテルの里づくり事業は、旭志の住民を講師に、毎年1校ずつ小学校を巡回して蛍の育成を行っていた。学校が一巡したので、補助事業としては終了し、今は各学校で自主事業として取組まれている。</p>
委員	<p>菊池溪谷の創造的復興については、溪谷内の右岸側の遊歩道が整備され、「◎」という評価になっている。観光分野に携わる者の視点では、今後、どういった使い方をしていくかで評価すべきと感じる。先日、県や市職員が大観峰方面から菊池溪谷内のコースを歩いて検証したと聞いた。今後、溪谷をどう活用していくかで、新しいお客さんを引き込み、来られたついでに食堂とかに寄るといったプラスαの部分が必要だと思う。どう考えているのか、お尋ねしたい。</p>
執行部	<p>九州自然遊歩道、溪谷から兜岩までのコースを歩いた課題としては、遊歩道が一方通行になっていることである。菊池溪谷の活用は、広域的な視点で考える必要性を感じた。</p>
施策2 菊池ブランドの推進	
委員	<p>農畜産物の安心安全な生産基準があるというのは、消費者にとって関心が高い情報である。ネットショップに菊池基準の説明はあるが、商品に菊池基準で生産されたかの表示がないため、消費者が選べるようになればいいと思った。ホームページのリニューアルに合わせて、菊池基準を表示されるようなので早く進めて欲しい。</p>

委員	ホームページのリニューアル中だそうだが、これまで商品に「菊池基準」の表示がなかったことに驚いた。市長が菊池基準による農産物のブランド化をとっても宣伝されていたのに、菊池基準の表示がない状況でネット販売していたことが信じられない。
執行部	ご指摘の通り、表示が無かったのは遺憾なことだと思う。菊池基準であることを一目で分かるように、ひとつひとつの商品にシールのようなものでも貼ればアピールができると思うが、できていない状況がある。安心安全は当然のことであり、消費者にしっかり目につく、分かりやすい表示であるべきと認識している。
施策 3 農業の振興	
委員	新規就農者が 19 人ということで本当にすごい結果だと思う。農業次世代人材投資事業というのがあるが、実際 5 年間継続できた人はどれくらいいるのか。5 年の途中で審査をするとうまく進んでおらず、補助金を返還しなければならない事例がある。この補助金をもらっている人で、農業が出来ているのかどうか、指導ができていないのか聞きたい。 また、農地パトロールをしていると、中山間地などに耕作放棄地がたくさん見られる。農業従事者の高齢化による放棄地が増えているのだと思う。中山間地は有害鳥獣による被害も多い。対策はされていると思うが、例えば耕作放棄地と観光をコラボした取組みを企画してもいいと思う。
執行部	農業次世代人材投資事業は、年間 150 万円を最長 5 年間の補助が受けられる制度で、これまで途中で農業を辞めて返還が生じた人は 2 人となっている。最近では、JA 指導による「アスパラ塾」が定着している。営農指導員やスタッフがいるので、細やかな指導により営農はうまくいっている。 耕作放棄地の対策のひとつとして、有害鳥獣の被害を減らすために電気柵や、ワイヤーメッシュを設置したり、猟友会等による駆除や箱罠等の設置を行っている。しかしながら、被害はなかなか減らない状況にある。 耕作放棄地と観光のコラボの案は、近年の観光は変化しており、収穫体験、農業体験は好評である。本市の中山間地の農業でも、収穫体験といったこともやっていければと思っている。これまで菊芋、ヤーコンの収穫や調理の体験を行っており、非常に好評である。今後もそういった体験を検討していきたい。
委員	熊本は畜産県として有名で、中でも菊池の牛は高品質で評価が高い。畜産経営の課題は、人件費と飼料代ということをよく聞く。市として優位性を保つ、あるいは生産量を増やすといった畜産の振興について、特別な取組みはあるのか。
執行部	畜産クラスター事業があり、牛舎や堆肥舎を拡大するための補助がある。また、放牧事業や家畜導入事業もやっている。JA では、キャトルブリーディングという子牛を繁殖する生産拠点を作っている。

委員	熊本の畜産を見ていると、放牧できる優位性はあるものの、子牛を出荷するのに他所より1か月くらい時間がかかっている。良い評価が得られているので、国の事業以外にも何か取組みが進めばいいと思う。
施策4 商工業の振興	
委員	山鹿のさくら湯周辺では、新規でお店を出されるところに5年間の家賃補助とリフォームに対する補助が300万円くらいある。隈府のまちなかに新規で店を出すには補助がないと厳しい。
執行部	本市では創業支援事業で、借地料や借家料、店舗改修費、信用保証料等の補助を行っている。今より充実したものが必要かと思う。今後、起業塾というのを開いて、新たに事業を始める人や、いろんな事業を考えている人がより参入しやすいよう支援を行う。
委員	成果指標にある「小売業及び卸売業の販売額」の実績がないのは、指標としての役割を果たしていない。国の5年毎のセンサスの指標なのか。毎年実績が取れると思って指標化されたのか。
執行部	この指標は、国の経済センサスであるため5年毎の公表結果を出している。指標の数値がまだ公表されていないので記載できていない。
委員	この指標を成果指標にすべきでなかった。別に代替指標を設定するのもいいのでは。
委員	菊池テクノパークの売却の部分で、達成度が「－」の理由はなにか。
執行部	市が造成した工業団地の土地は、企業誘致が終了している状態。菊池テクノパークは、県の土地であるため県の意向で誘致が決定する。市は企業に打診を行い、県に情報提供に努めたという状況である。
施策5 学校教育の充実	
委員	コロナ禍において、各学校からクラスターが出ないように、先生方の努力に感謝している。一人1台のタブレットと家庭のネット環境整備を行い、家庭学習ができるようになったが、家庭によっては難しいところもあると思う。どの程度ネット環境が整ったのか教えてほしい。 また、先日中学生の子ども議会があり、非常に子どもたちの考え方や視座が高くなったと感じた。その裏には、プラチナ未来人材育成塾への参加をとおして、全国的に高いレベルの知識者の話が聞けることもあり各学校のリーダーになる生徒が良い意見を述べていた。その成果が上がってきているのを嬉しく思う。
執行部	家庭のネット環境整備は、9割強が終わった。今後はタブレットを家庭に持ち帰り、家庭学習に活用したいと考えている。

	<p>子ども議会は、非常に質問の質が高くなったと感じている。毎年、プラチナ未来人財育成塾に派遣し、さらに市独自で森の学校きくち事業を実施している。この塾に派遣した子どもたちは、森の学校きくちにも参加させ、リーダー化を図り、自分たちの考えをまとめて子ども議会で発表していくサイクルをつくった。一連のサイクルを経験した子ども達が、子ども議会で発表するのは今年が初めてで、成果があったと思っている。</p>
委員	<p>子どもたちへのワクチン接種については、夏休みが明けて、ワクチンを打った、打たないで子どもたちの間でいざこざが起きないように配慮をお願いする。体質的なことで打てない子どもがいると思うので、細やかな対応をお願いしたい。また、今後もしクラスター等が起こり、長期の休みを取らなくては行けなくなった時に、子どもたちの授業をどう補填するのか気になる。特に、受験生の場合であれば、2、3週間休んだ場合の対策など考えてあるのか。</p>
執行部	<p>ワクチン接種に伴う子どもたちへの人権的な配慮については、県の教育委員会からも通知がされており、十分配慮して対応している。今後クラスター等が起きて長期の休みになった場合の対応については、タブレットを持ち帰り家庭でのオンライン授業を行う。</p>
委員	<p>オンライン授業は大学や高校でもやっている。顔出しをしない授業だとログインはしているが他の事をやっているとか、着替えもしたくないから顔を出さないとか、そういうことが実際にあるので、対応を考えて欲しい。</p>
執行部	<p>オンライン学習は、タブレットに子どもたちの顔を写して、先生が子どもたちの顔を見る形での学習を行うことにしている。</p>
委員	<p>小学校では部活動が廃止になり、クラブに所属しているような運動をしている子どもたちもいるが、保護者の負担が大きいのと思う。市に言うべきことではないが、小学校での部活動は無理なのか。</p>
執行部	<p>小学校の部活動は、文科省の指導により社会体育へ移行した。クラブチームに入ることもできるが、市には総合型スポーツクラブがある。各小学校の体育館等を利用して活動しているため、利用してほしい。</p>
<p>施策6 生涯学習の推進</p>	
委員	<p>コロナ禍であるが、様々な取組みが実施されていると感じた。本の貸出冊数は、図書館が新しくなって市民の文化教養レベルも大きく変わってきたと思う。公民館の講座開催も難しいと思うが、孤立を防ぐという意味は重要な取組み。いろいろ工夫されたことが結果に出ており誇らしいと思う。特に苦労した点、貸出が増えた社会的な特性、年齢等を教えてほしい。</p>
執行部	<p>図書館は、コロナ禍で休館や時間制限を行ったり、学習室等を一時閉鎖し入館数を制限した。そのため、貸出冊数を通常より倍にしたり、電子図書を導入し利用もあった。</p>

	<p>公民館も同様に休館したり、災害時は避難所開設による閉鎖もあった。コロナ禍で上半期の講座は全て中止し、下半期の講座は定員の 50%を守りながら、感染症対策に十分配慮し実施した点が苦勞した。利用者からは、コロナ禍でも講座に参加できて良かったという意見があった。</p>
委員	<p>私は、資料探しにいろんな図書館を利用するが、県立図書館が一番早くに閉まるので困る。利用制限は理解できるが、知的好奇心や探求心をサポートする機関として公立図書館はできるだけ開けていただくと嬉しい。</p>
委員	<p>指標結果の分析に、出前講座の内容を動画配信するなどの取り組みを進めていく、とあるように、オンラインだと気軽に参加する人もいると思うので、集客の観点からも必要だと思う。公民館からの配信もいいが、個人的には、素敵な図書館から動画配信していただければ、図書館のアピールにもなると思う。動画配信が得意な市民の力を借りながら、菊池から講座を発信していただけたら嬉しい。</p>
執行部	<p>デジタルコンテンツは、公民館でも図書館でも利用できるものを作成している。先日、アメリカのクリエイターを講師に、子どもたちにクリエイティブな仕事を体験してもらうための中高生向けの「動画づくりワークショップ」を行った。その中で、図書館の CM を作ってもらったが、将来子どもたちが学校の CM を制作するといったことが進むよう試行錯誤しながら取り組んでいく。</p>
委員	<p>達成度評価は◎にしても良いとの印象を持った。</p>
施策 7	スポーツの振興
委員	<p>オンラインマラソンはどのように開催したのか。</p>
執行部	<p>初めての取組みで、県内でも初と聞いている。ネットで参加申込みを行い、菊池に来て走る事もできるが、地元で走ってその距離を報告してもらう仕組み。全国から参加があり、200 名のうち半分は県内で、それ以外は関東、中部、近畿、東北、それから四国からも参加があった。コースはハーフと 10 キロの 2 コースで、参加賞も 2 種類用意し、菊池の特産品と豪華版セットを作った。</p>
施策 8	市民協働とコミュニティ活動の推進
委員	<p>地域おこし協力隊が 3 年で卒業した後、菊池に住んでいるのか、卒業後の活動等データがあれば教えて欲しい。</p>
執行部	<p>令和 3 年 3 月 31 日までに任期終了または退任した人は 17 人おり、そのうち菊池市に定住した人が 11 人、熊本市に転居した人が 2 人、県外に出た人が 4 人となっている。</p>

委員	菊池高校と菊池農業高校のコミュニティスクールを設立とあるが内容は。
執行部	各高校で学校運営協議会を設立し、その活動のことをコミュニティスクールと呼んでいる。
委員	菊池高校のまちづくり部とは違って、PTA が参加している運営協議会のようなものか。
執行部	PTA や地元の有識者、色々な団体の代表者によって構成されている。
委員	コミュニティスクールができて、令和 2 年度から具体的にどんなことをされたのか。
執行部	菊池高校の学校運営協議会では学校の魅力をどう高めるかというような、学校以外の関係者が学校の運営を議論するような場になっている。先日、菊池高校の普通科にコースを 2 つ作られたことが新聞に掲載されていたが、そういったことをその運営協議会で議論している。
執行部	このコミュニティスクールは、総合型の学校運営協議会という形になっている。従来は PTA 等の学校関係者だけが入っていた協議会だったが、総合型では地域を巻き込んだ協議会として取組んでいる。菊池高校では、観光協会、行政からは教育長、政策企画部長、経済部長が入っている。3 つの委員会があり、学校魅力化の検討委員会、部活動の地域拠点化への専門委員会、地域資源活用専門委員会をつくり、それぞれの将来展望を検討している。
委員	フューチャーラボは、2 期生の最後の大事な締め括りの段階でコロナ緊急事態宣言が出たため、成果発表が展示のみという形になり残念な結果になった。私は、1 期生とその前身となるところで関わっていたが、2 期生は最後のつながりが弱かったと感じた。2 期生が思い描いたものをどのような形にしていこうとしていたのか見えず、応援することができない関係性の薄さというものを感じた。最後まできちんと終わった 1 期生は、自分たちでチームを作ってイベントをやりながら動いているので、完結する締め括りは重要だと思った。
執行部	フューチャーラボの 2 期生は、1 年間コロナ禍で活動ができず、最後の発表する場もなく終わってしまった。コロナ禍が落ち着いたら、つながり等を考えていきたい。
委員	コロナ禍でどの事業も施策も非常に苦労されているのは理解できるし、工夫もされているので評価したい。ただ、私はこの事業の評価自体を悪く言うのではなく、敢えてここは要改善という形にして、改善するという前向きな評価をした方がいいのではないだろうか。
委員	評価のつけ方は、各部局でもバラツキがあるのかもしれないし、今後に期待を込めて、というものもあるかもしれない。ご意見として承っておきたい。
施策 9	交流活動の推進

委員	国際交流協会は、菊池女子高の特色ある授業を活用し、在住外国人に体験してもらう準備をしており、協会の活動を広げるため、学校に出向いているんな話をしている。市も今後は、若い世代、特に学生との交流をやっていって頂きたい。そういう考えはあるか。
執行部	友好都市とオンライン交流会は行ったが、今後学生たちと一緒にできるか検討していきたい。
委員	ふるさと納税は、1億2千万円の寄附があったということだが、菊池市民が他の自治体にふるさと納税をした金額はどのくらいなのか。
執行部	市民が他の自治体へ寄附した額は、令和2年度は、約34百万円となっている。
施策 10 歴史文化の保護・活用	
委員	私たちの世代は、菊池の歴史を授業で学ぶ機会がなかった。都市間交流の会に入ったおかげで友好都市の岩手県遠野市と交流し、自分が菊池のことを知らないことに気付いた。歴史や文化財をどう活かしていくのか。観光ボランティアは高齢化が進み、今後の事を考えるとスマホで回られるような仕組みを作っておかないと途切れてしまう。菊池遺産として遺産を登録するのもいいが、そこに行くきっかけを創らないと価値も分からないし、郷土の歴史に興味を持つこともない。そのような先のことを考えながら取り組む必要があるため要改善が適切だと思う。
執行部	現在、菊池一族の歴史遺産を回る際に、専用端末を持って散策すると、一族に関する情報が聞こえるという仕組みを考えている。 菊池遺産は、現在パンフレット作成で終わっているため、今後はいろんな形での情報発信と、観光施設と菊池遺産をつなげ回遊してもらおう仕組みを考えていく必要がある。
委員	鞠智城は、市内の小学生が歴史の授業で行くそうだが、先日初めて中学生が授業の一環で来たということで大変喜ばれていた。小学生、中学生のうちから菊池には素晴らしい歴史があるということを広めていくことは、菊池を担う人材の育成において大事なことだと思う。
委員	身近すぎてなのか、子どもの頃に学んだ記憶がないからなのか、子どもを連れて行った記憶がない。菊池溪谷も子どもを初めて連れていき、「行ったことない」ことに気づいた。外に発信するのも大事だが、内側の発信も併せてするのが大事だと思う。私たちにとっては菊池溪谷の魅力は当たり前で、市外の人がSNS等で菊池溪谷の良さを発信している。子どもたちが見学する機会を確保することは大事なことだと思う。

執行部	現在小中学校では、総合学習の時間に「菊池のふるさと」という副読本を使って菊池の歴史を学んでいる。また、昨年度に菊池の歴史を学ぶという関連の条例ができたので、各小中学校には推進してもらっている。
委員	副読本が使われており良い取組みだと思う。天草では「天草読本」というのがあり、子どもの時に習うが、高齢者や経営者も天草のことを語る時に活用されている。地域の中で広く使われていることが大事。歴史文化の保護活用といえば、文化財の調査や保存になりがちだが、観光振興への期待もあれば、子どもたちが郷土に誇りを持つ、歴史や文化という幅広い分野にまたがっている施策だと思うので、生涯学習課だけでなく、他の課とも連携してやっていただきたい。
施策 11 男女共同参画社会の実現	
委員	女性委員の登用率は、審議会などではある程度の成果が出ているが、市役所内で女性の管理職の割合を教えてもらいたい。
執行部	データの古いですが、平成 29 年度は、課長以上に占める女性職員の割合は 17.9%、係長以上に占める女性職員の割合は、25.5%となっている。
委員	その数字はよそと比較してどうなのか。
執行部	比較したデータは持っていないが、だいたい同じくらいかと思う。
委員	県の審議会における女性登用率は、目標が 40%で、今は 39%程度。目標を持って地道に取り組んでいく必要がある。(参考：熊本県の女性管理職【係長以上】2020 年度 23.4%)
施策 12 人権教育の啓発の推進	
委員	菊池市で特に注視されている人権問題はどんなものがあるのか。
執行部	企業による部落差別問題が 4 月に起きた。市職員が訪問した菊池郡内の企業で部落差別発言等がっており、現在その確認作業や改善に向けて取り組んでいる。
委員	集合型の研修ができず、リモート研修を進めている。私の周りでもリモート、オンライン、DVD を使って研修を行っているが、実際集合型の研修よりも参加率が高い。リモートなら参加したいという人もいたので、新しいやり方の一つとして推奨すべき。リモート研修実施の際は、参加者数を把握することが大事。
執行部	今後研修の在り方等は多様性も含めて検討し、進めていきたいと思う。また参加者数は把握できるようにしたい。

施策 13 子育て支援の充実	
委員	病児・病後児保育施設の追加整備については、コロナでまだ進んでいないということだが、共働きの家庭がほとんどであるため、病児・病後児保育は大事なことだと思う。現時点で 2 か所目の整備でいいのか、必要性、緊急性を検討して、早急に開設してほしいと思うが、経過はどうか。
執行部	共働きと核家族化が進む中、病児・病後児保育は重要であると認識している。現在 1 か所で、令和 2 年度の延べ利用者数は 320 人であり、コロナ禍で一時的に大きく減少している。平成 30 年度は 719 人、令和元年度が 600 人で、1 か所で対応が可能だった。コロナ禍が終息すれば、増えることは予想され、計画では令和 6 年度までに追加整備を行うことで検討を進めている。
委員	利用者支援事業で児童虐待のリスクが低いケースに限定して、必要な支援を実施したと書いてあるが、リスクの高いケースは子育て支援課では実施していないのか。
執行部	リスクが高い低いに関係なく子育て支援課が中心に対応している。リスクが低いケースは、一般に子育て支援という形で、子どもの身体のことも含めて子育て世代包括支援センターを中心に健康推進課と子育て支援課でフォローをしている。リスクが高いケースになってくると、子供相談員や女性相談員など、子育て支援課がより中心になって対応している。
施策 14 高齢者福祉の充実	
委員	91 歳の母が一人で少し離れて生活しているが、ゴミ出しのルールが非常に難しくなり、私たちも慣れるのに大変だった。高齢者のゴミ出しや家事支援とあるが内容は。
執行部	ゴミ出し支援は、生活支援の 1 つで社会福祉協議会やシルバー人材センターに委託し、年間約 420 件支援を行っている。
委員	うちの近所は、民生委員さんが巡回して、声掛けをされる。子どもより高齢者が多く、民生委員さんの活動を大変嬉しく思っている。
委員	母を看ているが、母が亡くなったとき、どこに何を言えばいいのか。死亡後の手続きなど、広報に載せたから終わりではなく、しっかり伝えて欲しい。若い人は広報紙をあまり見ないと思うが、分かりやすい情報発信をお願いします。
委員	有償ボランティアサポーターは、シルバー人材センターで雇用されて派遣されるという形か。
執行部	シルバー人材センターに委託し、有償ボランティアとして派遣してもらっている。

委員	うちの近所も高齢者が多く、若い世代がいるのはうちぐらい。私たちが昼間仕事に行くと、高齢者だけしか残っていない状況で、もしもの時に助け合うことが難しい。先日のワクチン接種の予約もそうだが、スマホを使えない、電話をかけてもつながらない、誰に聞いたらいいのかわからない、という人が多く、民生委員がすごく丁寧に対応する一方で、その負担が大きく、なり手がいないという話を聞いた。これから先、ひとり暮らしや高齢者だけで住んでいる家庭が、この先増えていくことを考えると、民生委員だけでは厳しく、サポートする人を増やしていく必要がある。もちろん私たちも隣近所に気を配るということを考えていかないと、取り残される人たちが増えていくのではないかと不安に思う。
執行部	昔からの隣近所の付き合いが薄くなっている現状で、市でも民生委員はもちろん、商工関係、地域の団体等も入ってもらい見守りネットワークを作っている。ネットワークそのものは、年 1 回会議を開いて活動を報告している。このような場を広げていきたい。
施策 15	社会福祉の充実
委員	コロナの影響で会話する、話し合う機会がない。地域の中で「どういう風に地域を住みやすくするか」ということを話し合う機会を仕掛けなければいけない。コロナ禍で生活困窮者が増加しており、小口の貸付等が年に何百件もあり、今までに無かった。毎日、誰かが「お金を貸してください」、「生活が困っています」、「食べるものがありません」といった対応に終始している。生活保護につなぐ前の段階の方が非常に増えており、出口が見えない状況であることを皆さんに知ってほしい。
執行部	市では生活保護そのものの増加というより、暮らしサポートセンターへの相談件数がかなり伸びている。社協での貸付や経済的な相談が増えている。協力、連携しながら就労支援等に結びつけたい。
委員	最近、学生に食料品を配ったり、子ども食堂やいろんな形での市民運動や、あるいは企業のフィランソロピー（民間が公益のために行うボランティア活動）的な活動として支援されている。困っている人には支援が届くが、グレーゾーンの人達とは。
委員	一番私たちが問題視しているのは引きこもりの人で、自主的な就労につながらない。実態を表に出さない、したくない人を表に出すことが難しい。そういう方がやっと重い腰を上げた時には正直、手遅れの状態で SOS が上がってくる。地域の中で埋没している困窮者をどう支援するか、真剣に考えなければならない。
執行部	見守りネットワークの組織は、いろんな職種や団体が入っており、ネットワークのつながりは重要だと考えているので強化を行っていく。

委員	<p>私も生活困窮者に関する仕事をしている。毎日のように面談に行くが、少し良くなったと思ったらまた悪くなるの繰り返しで、「兆しが見えてきた」と聞いて、お会いすると「またダメなんです」という事の繰り返しを1年以上続けている感じ。相当、皆さん疲弊しているというのが現状である。</p> <p>もうひとつは「8050問題」。親が子を養っていて、高齢の親が亡くなったとたんに生活が困窮するといったことがある。終わりが見えないような感じがする。</p> <p>子どもたちの就職活動では、観光関係は全滅状態、航空業界は採用0と言われ、希望が見えない。これから社会に出ていく若者たちの心のケアも大切にしてあげないと、ちょっとしたキッカケで引きこもりにつながることを危惧する。</p>
執行部	<p>困窮世帯は、精神疾患を持っている人が多い現状である。心の相談も市で受付けており、保健師や相談員で対応しながら、その地域の方々とネットワークをつなぎ支援をしていきたい。</p>
委員	<p>福祉関係は、制度が発達しているが、悪く言えば縦割りになっている。今起きている社会の問題は、縦割りの隙間にある。こういう社会問題に対応するには、お節介な人がいる方がいいと言われている。菊池のサイズ、それぞれの集落のサイズに合う、良い意味でのお節介が育つようなこともあったらいいと思う。</p>
<p>施策 16 健康づくりの推進</p>	
委員	<p>特定健診の受診率は、今年下がる見込みということですが、メタボの該当者は増える理由は。</p>
執行部	<p>受診した人の中でのメタボの割合になる。受診者数が減ったとしても、新しく受診した人でメタボが多かったり、医療機関受診中で指導対象外となった人を含めると、個数が上がり、該当者が増えたことが理由。</p> <p>保健指導対策も、重症化糖尿病対策や慢性腎臓対策を重点的にやっており、内臓脂肪だけの人の指導は優先順位が低いため、4割ぐらいしか保健指導が出来ていないのも原因と考えている。</p>
<p>以降、施策毎の評価方法から目指す姿毎に評価に変更</p>	
<p>目指す姿 8「美しい自然を後世に引き継ぐまち」について</p>	
<p>施策 17 自然環境と景観の保全</p>	
委員	<p>観光協会主催の「城山の日」は、秋に開催する方向で準備中。「城山の日」を通じて、各学校と連携を取るキッカケになったので、このような取組みと通じて市民と学校とのつながりを継続していきたい。</p>
執行部	<p>「菊まつり」などの観光協会が実施するイベントの時には、清掃活動など是非連携したいので、市民への参加を呼び掛けたい。学校でも環境教育を行っているので、一緒に出来れば素晴らしい取組みになると思うので、連携をよろしく願いたい。</p>

施策 18 循環型社会の推進	
委員	<p>循環型社会に関して、ここ1年でCO2の削減が大きな国際目標になり、熊本連携中枢都市圏でも菊池市と一緒にやられているのを承知している。水俣市では、公共施設の機材の入替えてCO2の削減目標を早くに達成した。菊池市でも循環型社会への数値的な目標設定ができるのではと思う。</p>
執行部	<p>地球温暖化については、熊本市を中心に連携中枢都市圏18市町村で計画を立てた。令和3年度に、菊池市役所は1事業者としてCO2削減の計画を作成する。市が率先して取り組むことで、民間企業や市民にも是非協力していただきたい。</p> <p>ただ、畜産におけるメタンガスが問題であり、二酸化炭素の2倍の数値設定であるため、連携中枢都市圏における菊池市の評価は非常に厳しい。国の農研機構でもメタンガスを排出する牛の品種改良や、オーストラリアの配送飼料を使ってCO2が減るといふのがあるので、農政サイドと連携を図りながら進めていきたい。</p>
委員	<p>環境関係の指標は、相互関連するもので、時々疑問に感じる。菊池は農業・林業が盛んであるため、二酸化炭素のカウントについて行政として主張したり、菊池独自の基準で計算するなど考えられる。</p>
<p>目指す姿9「ともに助け合う安全安心なまち」について</p>	
施策 19 防災・消防体制の充実	
委員	<p>コロナ禍で人が出歩かないので、全国的に交通事故はすごく減ってるそうですね。</p>
施策 20 安全安心なまちづくりの推進	
委員	<p>学校周辺の防犯灯について、通学路の灯りは大丈夫か。</p>
執行部	<p>特に苦情等は上がっていない。基本的に防犯灯は申請に基づいて設置しているため、苦情等はない。</p>
執行部	<p>教育委員会としては、通学路は「通学路の安全点検」を毎年行っている。学校から危険箇所等を出してもらい、警察、土木課、県の土木課、教育委員会で実際一緒に通学路に行き点検をしている。</p>
委員	<p>毎年いろんな災害が起こっており、市役所も早め早めの対応をされている。台風の時など準備していた時は良いが、予想が外れ直撃することもある。市としての注意喚起は。</p>
執行部	<p>例えば、台風の際は、市の予想図を含めて、米軍の進路予想図等あらゆる情報を集めている。少しでも危険がある場合は、早め早めの避難を呼びかけるようにしている。それが深夜帯や早朝にまたがるようであれば、明るいうちからの避難を呼びかけ、対応している。</p>

目指す姿 10「住みやすさを実感できるまち」について	
施策 21 公共交通の充実	
委員	観光協会は、菊池渓谷ビジターセンター、竜門ダムの MOF、鞠智城と情報交換をしている。夏休みなどに各施設から「あいのりタクシー」を臨時で使えないか、という声がある。電鉄バスで菊池温泉に行くことはできるが、四季の里に行きたくても、お客さんから「無いんですか？」という声がある。
執行部	市民広場から菊池渓谷までのあいのりタクシー利用の件ですが、土日祝日については、「観光あいのりタクシー」を運行しており、市民広場への配車も可能となっているので、ご利用いただきたい。ただ、周知が進んでいないということがあるため、周知方法を今後考えていく必要があると思う。
施策 22 魅力あるまちなか整備	
委員	隈府のまちなかに水の音があれば、温泉地として目を引き、景観が良くなるという市民の声を聞く。昔の住民が多かった時期は危険という意見もあったが、生活用水として使っていたときは自然と環境の中で学ぶこともあった。危険と温泉水が流れて臭いこともあり蓋をした経緯があるが、試験的にまちなかの水路の蓋を開けて、まちなかに水の音が聞こえるような環境を作っていただきたい。
執行部	建設部としては、肥後銀行の横の水路の蓋は、当時の経緯があるため、現時点で蓋を外すことは考えていない。
委員	私は熊本市からくるとき、花房台から下ってくる時に見える景色、段々とまちに入っていく、あんな感じはなかなか良いなと思っている。花をいっぱい植えましょとかスポット的にはあるが、もうひとつ、この魅力あるまちなかというか、理想のまちのイメージみたいなものが共有されると、そこに向かって少しずつまちは変わっていくと思う。今のところ菊池渓谷の水とかクローズアップのイメージだけずっと出ていて、菊池全体のイメージが持ちにくいなと市外のものとして感じている。
施策 23 移住定住の促進	
意見無し	
施策 24 住環境の整備	
意見無し	
施策 25 上下水道の整備	

意見無し	
目指す姿 11「市民に開かれた健全な行財政運営のまち」について	
施策 26 開かれた市政の推進	
委員	この施策の成果指標は、時代とともに動画系が流行ったり、移り変わりが激しい。この指標をどう捉えているのか。
執行部	第 2 次総合計画を策定した頃は、facebook が主流だった。その後 Twitter とか Instagram が出てきており、フォロワー数が把握できる。今後は、これらの SNS フォロワー数を成果指標にして、市の様々な情報を発信できればと考えている。
委員	どんな人が良く見るのか。市民それとも観光情報を得ようとする市外の人なのか。
執行部	SNS は、それぞれに特色があり、facebook は年齢層が上になっている。Instagram 等は、年齢層が若い世代で、情報を得ようとする対象の住み分けが進んでいる。ただし、フォロワーが市内、市外かの判断はできない。 市のホームページは、観光ページと行政ページをトップページ閲覧数で集計していたが、平成 31 年 2 月に統合を行った。その時の総合行政ページは約 38,000 だったが、現在は 3,000~44,000 ページビュー、観光ページは若干の浮き沈みはあるが、2,400 ページビューでほぼ変わらない。
委員	市民が市のサービスや、情報を得ようとしてアクセスされていることが多いように思う。
委員	20 年前に友好都市の岩手県遠野市に行った時、ケーブルテレビで議会の放送を見ることができた。菊池では SNS 等で発信しているのか。
執行部	オンデマンド（録画中継）で見られるようになっている。
施策 27 行政機能の充実	
意見無し	
施策 28 財政基盤の強化	
委員	嘱託職員が会計年度任用職員になり、賃金から人件費に取り扱いが変わったとある。会計年度任用職員にボーナスを払うと相当人件費が増えるのか。
執行部	会計年度任用職員にはボーナス等もあるため、人件費は約 1.3 倍になっている。

